

# 大和合金グループ

## 非鉄金属

### 三芳工場にNC旋盤増設

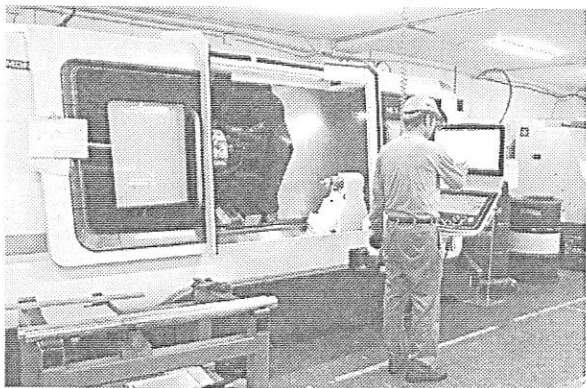
### 航空機・自動車向け、納期対応強化

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)グループはこのほど、埼玉県三芳町の三芳工場でNC旋盤を2台増設した。航空機や自動車関連の加工が現在繁忙。その中で能力を高めることで、急な需要増にもスムーズな納期対応を可能にする。投資金額は数千万円。大和合金グループのNC旋盤は6台体制となった。

同社では旋盤で自動ア向けの円筒形の鍛造車向けには溶接電極向・押出品を加工している。自動で加工ができるNC旋盤の台数を増やすことで、繁忙時には一人の社員が複数の設備を操作できる体制を構築。生産効率を高める。

だが、今年6月と7月三芳合金工業の検査工程のものとなっていた。6月に増設したNC旋盤は同工場内に設けた、グループ企業の旋盤は長い素材の加工

が可能なタイプ。約1層の素材を切削加工できることが特徴となっている。萩野社長は「仕事の繁忙にこれまでに以上に対処するために、設備投資を進めてきた」と話している。今後は国内に加えアジアや欧州で、自動車や航空機関連市場の捕捉を目指す方針。



増設したNC旋盤

三芳工場では昨年にもNC旋盤を2基増やしてい